

・12月6日(水)のトライアルデーにMBTコンソーシアムと奈良県立医科大学MBT（医学を基礎とするまちづくり）研究所は、細井裕司理事長（奈良医大理事長・学長）や部会リーダーで研究中心メンバーの梅田智広研究教授はじめ関係者が、重要伝統的建造物群保存地区の今井町で、歩きながら生体情報や環境情報が収集できるMBTウォッチ(健康みはりメッセージや気象情報の配信)やバイタル計測Tシャツ(心拍センサー)を身につけウォーキングのデモンストレーションを行いました。



↑MBTウォッチを装着



↑ウォーキングデモンストレーション